

## GEIBUN オープンエアミュージアム in 環水公園

2010年度と2011年度の取り組み

富山大学芸術文化学部准教授 渡邊 雅志



「HAPPINESS BIRD PROJECT」街灯に設置された鳥（2010）

### 趣旨

富山県と富山大学は、「富山県と国立大学法人富山大学との連携に関する協定書」により連携協力を行っています。その一環として、富山大学芸術文化学部の学生および教員の作品を、富山県の代表的な公園である富岩運河環水公園に展示する「GEIBUNオープンエアミュージアム in 環水公園」を2010年より開催しています。富岩運河環水公園を利用される多くの市民の方々に、豊かな緑あふれる公園の中で芸術文化学部の作品に触れる機会を提供し、公共空間に現れた様々な作品を通じて、日常にある驚きや楽しさ、そして喜びを実体感していただきたいと考えています。この取り組みが、芸術文化が社会や環境そして人々に豊かな創造性を伝え、日常生活に潤いを与える力があることに気がつき、今後の富山の新しい魅力として繋がっていくことを願っています。

### 2010年度の取り組み

開催日：2010年9月4日（土）～10月11日（月・祝）

会場：富岩運河環水公園

主催：富山県、富山大学芸術文化学部

出品数：野外展示52点、屋内展示8点の計60点

出品作品：

#### 「平和」

初日のオープニングイベントとして行ったライブペイント。真っ白な三角錐（高さ3M）を2本用意し、大学で絵画を学ぶ学生を中心に1日かけて描く公開制作作品。

石黒千景、竹原美也子、田中大覚、谷直樹、土井彰子、直井昭恵、野村一晟、原田早紀、上地由希子、柏島知昌、作田芳、菅原夏未、中道枝里、針山仁美  
安達博文（芸術文化学部教授）、高島圭史（芸術文化学部講師）

#### 「環境造形」

環水公園という環境を考慮した木や金属による作品。  
石黒千景、畦地拓海、阿部佑子、宮崎遼、涌井裕介、谷健太郎、田中大覚、尾崎梨紗、西川紗絵子、新谷仁美、

小栗佳那子、松井麻里子、山田佳奈子、中田裕明

「CODON'10-9」

教員作品 後藤敏伸（芸術文化学部教授）

「存在の意味Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ」

教員作品 中村滝雄（芸術文化学部教授）

「TOKI/TSU/KAZE」

教員作品 齊藤晴之（芸術文化学部准教授）

「HAPPINESS BIRD PROJECT」

公園内の様々な場所にバードカービングで制作された鳥を17羽設置。地図を片手に散策しながら見つけてもらう趣向。展望塔内には鳥のかたちのカードを用意して、自由に鳥を描いてもらうブースも設けた。集まった鳥のカードは700枚。

畦地拓海、國元麻里奈、坂本恵理、桜井裕子、高橋ゆり  
渡邊雅志（芸術文化学部准教授）

「空間デザインB（家具）授業成果作品」

県産杉間伐材を素材に椅子をデザイン・制作する2年生対象授業。指導は丸谷芳正芸術文化学部教授。

坂本恵理、石黒聖那、伊藤加織、岩見理子、奥野さつき、大茂谷ひかり、乙川佳奈子、加藤優、川口菜、工藤知恵、桑原海、小林茉里、松浦輝晃、千葉香保里、中山航太郎、野原美紗貴、松澤光聡、麦田志織、湯上弥生



「平和」オープニングイベントの作品制作風景（2010）



「HAPPINESS BIRD PROJECT」来場者が描いた鳥のカードが壁面の枝に留められていく (2010)



「スズンデル」畦地拓海 環境を考慮していることが伺える (2010)



「TOKI/TSU/KAZE」齊藤晴之 (2010)



「空間デザインB(家具)」様々な椅子が楽しさを生み出す (2010)

### 2011年度の取り組み

開催日：2011年9月10日(土)～10月10日(月・祝)

会場：富岩運河環水公園

主催：富山県、富山大学芸術文化学部

出品数：野外展示47点、屋内展示20点の計67点

出品作品：

#### 「環境造形」

環水公園という環境を考慮した木や金属による作品。

伊佐絵美香、阿部佑子、石黒千景、田中大覚、樋口舞、井澤郁子、黒崎隼人、清水真奈、西川未帆、松井華織、森奈保子

#### 「翔-show-」

教員作品 後藤敏伸(芸術文化学部教授)

#### 「時の記憶Ⅱ」

教員作品 齊藤晴之(芸術文化学部准教授)

#### 「HAPPINESS BIRD PROJECT」

昨年度の作品17羽に加え、新たに水鳥を2羽設置。展望塔内の鳥のカードに自由に鳥を描いてもらうブースも引き続き設けた。今回集まった鳥のカードは540枚。

畦地拓海、國元麻里奈、坂本恵理、桜井裕子、高橋ゆり、渡邊雅志(芸術文化学部准教授)

#### 「空間デザインB(家具) 授業成果作品」

県産杉間伐材を素材に椅子をデザイン・制作する2年生対象授業。今回は2人掛けのベンチが課題となった。指導は丸谷芳正芸術文化学部教授。

清野諒、吉田亜里紗、益村加奈子、上出麻琴、山本御聖、有吉育美、北野絢沙未、宮地寛之、渡辺進、藤田陵

#### 「メディアインスタレーション展」

夜の公園で行われた1日限定のメディアインスタレーション展。指導は西島治樹芸術文化学部講師。

岡本知佳、小出佳美、谷口しのぶ、帯刀玲香





「HAPPINESS BIRD PROJECT」水面に浮かぶ水鳥 (2011)



「空間デザインB (家具)」ベンチの幸せな光景 (2010)

「音機功-otokara-」

公園内にある“泉と滝の広場”に流れる滝の力を動力に変え音を奏でる作品。同作品は公園で公開組立された。  
池田将光、館野龍三郎、谷直輝、松本一馬  
小川太郎 (芸術文化学部助教)

「金魚と錦鯉」

石をペイントして水に沈めると、さざ波にゆられてあたかも泳いでいるように動き始めます。  
井澤郁子、佐伯香奈、橋本朋香、浜屋友実、松村季依  
渡邊雅志 (芸術文化学部准教授)

「ショーケースプロジェクト」

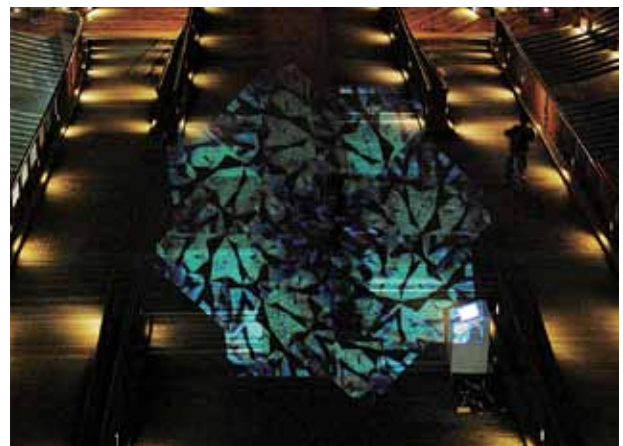
透明なアクリルケースに入れられた作品が展望塔の中にちりばめられています。  
井澤郁子、佐伯香奈、橋本朋香、浜屋友実、松村季依、  
桜井裕子、高橋ゆり  
渡邊雅志 (芸術文化学部准教授)

「夢りんごプロジェクト」

りんごの絵馬にあなたの夢を描きましょう。描いた絵馬は公園の木に結びます。夢が実りますように。会期中3回のワークショップを行い、160枚の絵馬が描かれた。  
井澤郁子、佐伯香奈、橋本朋香、浜屋友実、松村季依  
渡邊雅志 (芸術文化学部准教授)



「翔-show-」後藤敏伸 (2011)



「万華鏡」岡本知佳 天門橋に映し出される万華鏡映像 (2011)



「ささえ」阿部佑子 (2011) 作品が環境に寄り添う瞬間がある

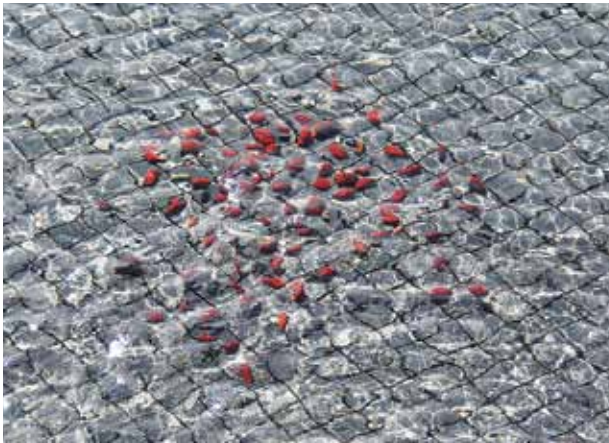


「音機功-otokara-」滝の力で水車が回り鉄琴を奏でる (2011)





「夢りんごプロジェクト」公園の木に結ばれたりんごの絵馬 (2011)



「金魚と錦鯉」ゆれる動きが泳いでいる魚だと思ひ込む (2011)



「あなたとの時間」井澤郁子 ショーケースプロジェクトより (2011)



「夢りんごプロジェクト」りんごの画板の上で絵馬を描く (2011)

### 環水公園で行うということ

富岩運河環水公園は富山県民の方々に広く親しまれている公園です。広大な敷地に水（運河）と緑（芝生や木々）が広がり、昼から夜まで、散歩やジョギング、愛犬の散歩や家族連れで賑わっています。自然が近くに感じられ、静かで広大な環境が癒しの効果を生み出し、賑わいにつながっているのではないのでしょうか。

そんな好環境にある環水公園で野外ミュージアムを開催するとなると、逆に大変なこともあります。公園に訪れる多くの方々に鑑賞していただけるのですが、屋外の公共空間ということで鑑賞者は不特定多数の方であるという点が、残念ながらマイナスに働いてしまいました。作品が破壊され、初年度には紛失した作品もありました。芸術作品は便利なものではありません。芸術が人の心や感性に届いたとき、人に喜びや楽しさやうれしさや感動を与えられるのです。富山県民の皆さまの心に少しでも届くものと想いながら、信じながら、このイベントを行っています。

### 今後に向けて

2011年も昨年に引き続き2回目の開催として終了することが出来ました。本展は多くの新聞やニュースにも取り上げられ話題を呼び、多くの来場者に楽しんでいただいています。芸術への理解はよき理解者があってこそであり、本企画は富山県が芸術への取り組みに力を入れていることの証しでもあり、期待を寄せていることも事実です。

我々富山大学芸術文化学部が県下にある総合大学として、また芸術文化の教育機関として芸術への理解を広める一助となれるよう、今後も富山県との協力を密にし、新しいこれからの富山県の魅力として繋がっていくために力を注いでいきたいと考えています。